

令和2年度用「中学書写」1年 年間指導計画・評価規準作成資料（案）

令和2年7月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。

教育出版

・当該学年で指導が実施できなかった教材については、次年度以降へ送ることも考えられる。

・上級学年に指導内容を送った場合には、教員間でしっかりと引継ぎをすること。

(評価標準：【A】十分満足できる，【B】おおむね満足できる)

★赤字……学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動。【 】内は配当時数。(4時間30分)

時間	単元名	ページ	教材名	学習目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	単元目標		導入教材	○小学校で学習したことをふまえて、中学校での学習内容を知ることができる。				
適時		①～2	目的に合わせて書こう	○さまざまな角度から文字に対する関心を深め、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ○中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。	【B】目的に合わせて書くことに関心をもち、書写学習への意欲を高めようとしている。 【A】目的に合わせて書き、書写の学習の成果を、他教科や日常生活へ広げていこうとしている。	【B】目的に合わせて書くことを知り、その効果について考えている。 【A】目的に合わせて書くことを知り、その身近な文字の効果をつ捉えている。		【B】目的に合わせて書くことを理解している。 【A】目的に合わせて書くことを理解し、他教科や日常生活へ広がることを把握している。
適時		3～5	姿勢と用具の使い方	○小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを自らすすんで知ろうとしている。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確認している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確かめ、把握しようとしている。		【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを理解している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを的確に捉えている。
適時		6・7	目次	○中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】中学校三年間における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】中学校三年間における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。		【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。
適時		8	学習の進め方、書写学習の構図	○学習の進め方を理解し、書写の各学習内容の関係性を理解することができる。	【B】書写の学習の進め方を理解しようとしている。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解しようとしている。	【B】書写の学習の進め方を確認している。 【A】書写の各学習内容の関係性を捉えている。		【B】書写の学習の進め方を理解している。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解している。
適時		9	目次 第一学年	○中学校一年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】中学校一年における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】中学校一年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。	【B】中学校一年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】中学校一年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。		【B】中学校一年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。
適時		10・11	詩「ふしぎ」金子みすゞ	○よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	【B】詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。 【A】詩を書く学習をとおして、書写学習に課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。	【B】小学校で学習した内容を確認している。 【A】小学校で学習した内容を確認し、自己の課題を捉えている。	【B】字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。 【A】字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。	【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。 【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。
	単元目標	12～21		○日常生活で最も多く使われている楷書を、字形を整えて書くことができる。				
4	楷書で書こう	12・13	①筆使い基本点画	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、その解決に向け意欲的に取り組んでいる。	【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。		【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。
		14～17	②筆使いと字形「天地」	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、その解決に向け意欲的に取り組んでいる。	【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。	【B】基本点画の筆使いや組み立て方を理解して書いている。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。

		18 ・ 19	③学習を生かして書く 一字形、筆順一	○字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ○毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。 ★教科書P.18・19の硬筆教材を、字形と筆順に気をつけて、国語のノートに書く。【1時間】	【B】字形の整え方、筆順の原則を知ろうとしている。 【A】字形の整え方、筆順の重要性を考えて、意欲的に取り組んでいる。	【B】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認している。 【A】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認し、把握している。	【B】字形の整え方、筆順の原則を理解して、正しい筆順で書いている。 【A】毛筆で学習したことを硬筆にも生かして書いている。	【B】字形の整え方、筆順の原則を理解している。 【A】字形の整え方、筆順の原則を理解し、他の文字の筆順も的確に捉えている。
		20 ・ 21	筆、墨、硯、紙について知ろう（適時）	○書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。	【B】書写で使用されている用具・用材の製造過程に興味・関心をもっている。 【A】書写で使用されている用具・用材に関心をもち、それらを大切にしている心情や態度をとっている。	【B】筆、墨、硯、紙についてわかったことなどを話し合い、まとめている。 【A】筆、墨、硯、紙についてテーマをもって調べ、積極的に考えて書いている。		【B】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性について理解している。 【A】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性についての確に捉えている。
	単元目標	22 ～ 39		○平仮名の筆使いや字源を理解し、楷書に調和する仮名の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○楷書と仮名の調和を考えて書くことができる。				
4	二 楷書と仮名を調和させて書こう	22 ・ 23	①筆脈「いろは歌」	○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。	【B】紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書いている。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。
		24 ・ 25	②楷書に調和する仮名「いろは歌」	○楷書に調和する平仮名や片仮名の字形、筆使いを理解して書くことができる。 ○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【B】楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいる。	【B】楷書に調和する仮名の筆使いについて考えている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いの特徴について、適切に判断している。	【B】楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。 【A】楷書に調和する仮名の書き方を習得して、字形を整えて書いている。	【B】楷書に調和する仮名の筆使いを理解している。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握している。
		26 ・ 27	③学習を生かして書く 一行の中心一『竹取物語』	○漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。 ★教科書P.26・27の『竹取物語』を、行の中心に気をつけて、国語のノートに書く。【1時間】	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて意欲的に書こうとしている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心について考えている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心について、適切に捉えている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して、字形を整えて書いている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解し、調和よく書くことを把握している。
		28 ・ 29	文字で心を伝えよう1 (適時)	○自分のさまざまな思いを言葉にして相手に伝えることを理解し、その場面に応じた書き方を選んで書くことができる。	【B】自分のさまざまな思いを言葉にして人に伝えることを理解しようとしている。 【A】場面に応じた書き方を選んで意欲的に取り組むことができる。	【B】自分のさまざまな思いを言葉にすることができる。 【A】場面に応じた書き方を選ぶことができる。	【B】自分のさまざまな思いを言葉にして表現することができる。 【A】場面に応じた書き方を選んで書くことができる。	【B】自分のさまざまな思いを言葉にして表現することを理解している。 【A】場面に応じた書き方を選んで書くことを把握している。
		30	④学習を生かして書く 一配列一 ①原稿用紙に書く	○原稿用紙の基本的な書き方と、漢字と仮名の大きさや配列を理解して書くことができる。	【B】原稿用紙の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	【B】原稿用紙の書き方を考えている。 【A】原稿用紙の書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】原稿用紙の書き方を理解して書いている。 【A】原稿用紙の書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】原稿用紙の書き方を理解している。 【A】原稿用紙の書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。
		31	④学習を生かして書く 一配列一 ②レポートの形式に書く	○レポートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	【B】レポートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	【B】レポートの書き方を考えている。 【A】レポートの書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】レポートの書き方を理解して書いている。 【A】レポートの書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】レポートの書き方を理解している。 【A】レポートの書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。

		32 ・ 33	④学習を生かして書く —配列— ③手紙を書く	○手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。	【B】日常生活での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活で書かれる身近な文章について、形式を整えて書こうとしている。	【B】手紙の書式に従って、文字の大きさ、配列を考えている。 【A】用紙の形や書式を考えて、文字の大きさや配列を適切に捉えている。	【B】手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して書いている。 【A】手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】手紙の書式と、文字の大きさや配列を理解している。 【A】手紙の書式と、文字の大きさや配列を把握し、調和よく書くことを理解している。
		34 ・ 35	文字は残る (適時)	○小説家や詩人が書いてきた文字を見て、書かれた文字への興味を深めることができる。	【B】小説家や詩人が書いてきた文字に興味・関心をもっている。 【A】小説家や詩人が書いてきた文字を意欲的に調べている。	【B】小説家や詩人が書いてきた文字を探して、文字について考えている。 【A】小説家や詩人が書いてきた文字を探して、的確に判断している。		【B】小説家や詩人が書いてきた文字について理解している。 【A】小説家や詩人が書いてきた文字をよく理解している。
		36 ・ 37	⑤学校生活に生かして書く	○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	【B】他教科や日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活の中で書かれる身近な文書について、形式を整えて書こうとしている。	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を考えている。 【A】さまざまな用紙の形や書式を考えて、配列や用具を適切に捉えている。	【B】さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して書いている。 【A】さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して、字形を整えて書いている。	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を理解している。 【A】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を把握し、調和よく書くことを理解している。
		38 ・ 39	文字の変遷 (適時)	○文字の変遷について関心をもつことができる。	【B】文字の変遷について興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】文字の変遷について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	【B】文字の変遷について考えている。 【A】文字の変遷について理解したことを、活用できる形で記録している。		【B】文字の変遷について理解している。 【A】文字の変遷について理解し、書写学習の参考としている。
	単元目標	40 ～ 56		○行書の特徴について、楷書と比較して理解することができる。 ○点画の変化や連続、省略を理解して書くことができる。 ○行書の学習の成果を日常生活に生かすことができる。				
		40 ・ 41	①行書学習のはじめに	○遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。	【B】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを知らうとしている。 【A】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを意欲的に知らうとしている。	【B】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを考えることができる。 【A】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを的確に捉えている。		【B】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解している。 【A】遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かをよく理解している。
		42 ・ 43	②楷書と行書の違い「和」	○楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解することができる。	【B】楷書と行書の違いを知らうとしている。 【A】楷書と行書の違いを理解し、行書の特徴について知らうとしている。	【B】楷書と行書の特徴の違いに気づいている。 【A】楷書と行書の特徴の違いを的確に捉えている。		【B】楷書と行書の特徴の違いを理解している。 【A】楷書と行書の違いをよく理解している。
		44 ・ 45	③行書の筆使い「大」	○行書の筆使いを確かめることができる。	【B】行書の特徴や筆使いなどを知らうとしている。 【A】行書の特徴や筆使いについて意欲的に知らうとしている。	【B】行書の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いについて、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】行書の筆使いを確かめて書いている。 【A】行書の筆使いを理解して書いている。	【B】行書の特徴を知り、行書の筆使いについて理解している。 【A】行書の特徴を知り、行書の筆使いについてよく理解している。
		46 ・ 47	④点画の連続と変化1「大木」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	【B】点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	【B】点画の連続と形の変化を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と形の変化から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。 【A】点画の連続と形の変化の筆使いを理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。 【A】点画の連続と形の変化の筆使いを的確に捉えている。
		48 ・ 49	⑤点画の連続と変化2「栄光」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	【B】点や横画からの連続の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	【B】点や横画からの連続の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点や横画からの連続の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点や横画からの連続の筆使いに気をつけて書いている。 【A】点や横画からの連続の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。	【B】点や横画からの連続の筆使いを理解している。 【A】点や横画からの連続の筆使いを的確に捉えている。

〇 書いてみよう	50 ・ 51	⑥点画の連続と省略 「平和」	○点画の連続と省略を理解して書くことができる。	【B】点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	【B】点画の連続と省略の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と省略の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と省略の仕方を理解して書いている。 【A】点画の連続と省略の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と省略の仕方を理解している。 【A】点画の連続と省略の仕方を的確に捉えている。
	52 ・ 53	⑦学習を生かして書く —行書の特徴—	○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を確かめて、硬筆で意欲的に取り組んでいる。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴から、自己の課題を考えている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を理解し、硬筆で字形を整えて書いている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を把握し、硬筆で字形を整えて書くことを理解している。
	54 ・ 55	⑧学習を生かして書く —配列— ①年賀状を書く	○行の中心や文字の大きさを理解して行書で書くことができる。 ★既習事項を生かして、行の中心や文字の大きさに気をつけて年賀状を書く。【30分】	【B】年賀状を書く活動に、興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】年賀状の書式をふまえ、行書で調和よく書こうとしている。	【B】文字の大きさや配列を考えている。 【A】用紙の形や大きさとの調和を考えて、文字の大きさ、配列を適切に捉えている。	【B】用紙の形や大きさに合わせて、文字の大きさや配列を理解して行書で書いている。 【A】用紙の形や大きさに合わせて、文字の大きさや配列を理解して、行書で字形を整えて書いている。	【B】年賀状の書式や配列を理解している。 【A】文字の大きさや配列を把握し、行書で調和よく書くことを理解している。
	56	暮らしの文字を支える人々 (適時)	○さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し、職業観を意識することができる。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを知ろうとしている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを知ろうとしている。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることについて考えている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることについて考えている。		【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解している。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを理解している。
3	書き初めを書く	楷書と仮名の調和 「新たな決意」	○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。	【B】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 【A】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	【B】楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 【A】楷書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	【B】楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。
		行書 「天地清新」	○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ★既習事項を生かして、教材文字を選んで書く。【2時間】	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。	【B】行書の特徴や配列について考えている。 【A】行書の特徴や配列について理解し、調和のさせ方を考えている。	【B】行書の特徴や行の中心を理解して書いている。 【A】行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて配列よく書いている。	【B】行書の特徴や配列について理解している。 【A】行書の特徴や配列についてよく理解している。
適時	一年間の学習のまとめ	①楷書と仮名の調和 「広がる世界」	○一年間の学習を振り返って、楷書と仮名の調和のさせ方、行書の書き方を理解して、字形を整えて書くことができる。	【B】一年間の学習を振り返って、漢字と仮名の調和のさせ方、行書の書き方の習熟に向けて、自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。	【B】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の書き方を考えている。 【A】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の書き方を的確に捉えている。	【B】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の筆使いや字形などを理解して書いている。 【A】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、配列を整えて書いている。	【B】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の筆使いや字形などを理解している。 【A】楷書と仮名の調和のさせ方、行書の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。
		②行書「理想」					
適時		補充教材集1 「出発」「名作」「永遠」「伝統文化」色紙短冊	○好きな言葉を選び、自分の目標を設定し、課題を意識して書くことができる。	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。	【B】筆使いや字形、文字の大きさなどの書き方を確認している。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどの書き方を的確に捉えている。	【B】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して書いている。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、配列を整えて書いている。	【B】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。